

第80回福島県災害対策本部会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成23年4月9日（土） 10：03～10：24
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303号室
- 3 内 容：

（1）最新の被害状況について【災害対策本部より】

事務局：（第95報のとおり説明）

- ・余白に表示していた余震の状況については、その後変更がないため、今回からこれまでの表示に戻し、余震の分も含めて記載している。
- ・東北新幹線（那須塩原～福島）の再開予定がこれまで4月12日ごろとなっていたが、4月12日で決定した。

（2）モニタリング結果について

生活環境部次長（県民安全担当）：（別紙モニタリング1～3のとおり説明）

- ・数値は、低下もしくは横ばい傾向にある。

（3）「福島県被災者情報集約・双葉郡支援センター」稼働状況について

文化・スポーツ局長：別紙資料により説明

- ・双葉郡支援センターでは、昨日191件の所在確認に至った。3日間累計で469人となった。
- ・避難所入居者情報は累計で74,315人登録、昨日の入居者の問合わせは283件で情報提供に至ったのは85件あった。

（4）二次避難実施スケジュールについて

企業局長：別紙資料により説明

- ・本日の移動予定者919人を含めて、累計異動者数は7,251人になる予定。

松本副知事：

- ・市町村によってばらつきがある。1日でも早く快適な環境に避難していただくということから、取組みについて、今一度よく説明してお願いすること。

（5）緊急被ばくスクリーニングについて

保健福祉部長：別紙資料により説明

- ・ 4月7日のスクリーニングした人数は2,456人、10万 cpm 以上が0人。
- ・ スクリーニング場所は別紙のとおり。

(6)「放射線に関する問い合わせ窓口」の利用状況について(第23報)

企画調整部長：別紙資料により説明

- ・ 地域では中通りからの問合せが多い。
- ・ 内容については、健康への影響、土壌に関するものが多い。それと学校が始まったことなどから学校の調査に関するものが多い。
- ・ 風評被害が広がっているということで、それに関する問合せも多い。

(7)「農林水産業に関する相談窓口」の利用状況について

農林水産部長：別紙資料により説明

- ・ 前日の相談件数は228件で、前日から34件減少。
- ・ 相談内容については、引き続き土壌分析結果と作付けに関するものが多い。
- ・ 作付けを待っていただいている7市町村からの問合せが多い。
- ・ 土壌の分析機関を紹介してほしいとの問合せもある。

(8)工業製品の放射線測定について

商工労働部長：口頭で報告(資料なし)

- ・ ハイテクプラザ(郡山)で対応しているところであるが、東京都の試験研究機関から測定機の提供並びに職員の方が応援に来ていただけることになった。来週の水曜日からを予定。
- ・ ハイテクプラザいわき支所に、地元企業から測定機があるので活用してほしいとの申し出がいわき市を通じてあった。早速、いわき支所でも開始したいと考えており、来週の中程には体制を整備したい。

知事：

- ・ 自主避難はどのくらい把握しているのか。

文化スポーツ局長：

- ・ そこが難しく、コールセンターを設置して呼びかけているところ。

知事：

- ・ 1番(センター稼働状況資料の「1避難者受付状況(双葉郡支援センター)」)の数字が自主避難ということか。

文化スポーツ局長：

- ・居場所、連絡先が確認出来た人数。この情報は市町村に提供し、市町村から各種手続き等の案内をしていただければと思う。

知事：

- ・市町村と連携を取りながら不明なところは早く確認するように。

松本副知事：

- ・市町村との連携、避難所の情報収集などは大事なので、こちらから派遣している連絡員、あるいは市町村長と直接コンタクトを取って、情報共有や要望の集約をお願いしたい。
- ・避難所について二次避難の話があったが、居住環境・生活環境をできるだけ良くするという観点からさらに見直し、二次避難の加速をお願いしたい。
- ・原子力災害の特色だが、相談が非常に多い。放射線や農林水産窓口などでは、大変かと思うが、できるだけ最新の情報を収集して、正確でわかりやすい情報提供、きめ細かな対応をお願いしたい。

第81回福島県災害対策本部会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成23年4月9日（土） 19：05～19：20
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303号室
- 3 内 容：

松本副知事：

- ・本日から、この災害対策本部の副本部長であり、また原子力現地災害対策本部の本部長である内堀副知事が、都合のつく限り本部員会議に出席する。

（1）最新の被害状況について【災害対策本部より】

事務局：（第96報のとおり説明）

- ・「4 被害の状況」の「死者」欄 15名増の1,241人
「行方不明者」は、15名減って、1,418人
- ・都市ガスについては、供給停止戸数は176件の減
- ・水道の断水状況については、520件の減

（2）モニタリング結果について

生活環境部次長（県民安全担当）：（別紙モニタリング1～3のとおり説明）

- ・数値は、いずれも若干の低下もしくは横ばい傾向にある。

（3）各町村における所在確認状況の訂正について

企業局長：別紙資料により説明

- ・先ほどプレスリリースしたが、その後、大熊町で1,100名ほど所在確認ができたということなので、改めて訂正版をプレスリリースする。
- ・なお、表題の「安否確認」という表現では誤解が生ずる可能性があるため、「所在確認状況」（役場が所在を確認した数）と訂正してもらいたい。

松本副知事

- ・この数字は、市町村が行政機能をどの程度回復したかシンボルとなるもの。これから、義援金の支出や様々な連絡などに必要なものであり、確認率を100パーセントに近づけることが何より肝心。市町村支援チームにおいては積極的に支援をするように。

（4）水道水中の放射性物質検査結果について

保健福祉部長：別紙資料により説明

①飲料水（水道水）のモニタリング結果

- ・いずれも、乳児による飲用基準値を下回っている。飯舘村では念のため、乳児による飲用の制限を継続している。

②中通り・浜通り地方のモニタリング結果

- ・いずれも、乳児による飲用基準値を下回っている。

③会津地方のモニタリング結果

- ・いずれもNDで、検出限界値を下回っている。

（5）スクリーニング会場の変更について

保健福祉部長：資料なし

- ・現在11市町の13会場で行っているスクリーニングについて、4月11日から3箇所を変更する。

男女共生センター → 県北保健福祉事務所（移動）

ビッグパレットふくしま → 郡山市総合体育館（統合）

勿来高校 → いわき市保健所（統合）

- ・なお、報道機関に対しては、おって投げ込みを行う。

（6）避難所の状況等について

知 事：

- ・避難所の状況と、二次避難の状況はどうなっているか？
- ・もう1ヶ月になるが、避難者の健康、心理の状況は？

病院局長：

- ・避難所の状況については、病気になった方は、その日のうちに病院に入院するなどしている。また、一部インフルエンザが発生しているところがあるが、隔離するなどして対応している。
- ・避難所では、二次避難に関する問合せが多く、次への関心が非常に高い。
- ・物資、食事については、概ね安定している。

保健福祉部長：

- ・避難所の健康面について補足する。狭いところに、人数が多いという状況が続いており、高齢者のインフルエンザ対応など、感染症に対する予防が必要である。現在巡回している、保健師、医療、看護師の各チームに伝達

し、予防の指導を徹底している。

知 事：

- ・高齢者もちろん、子ども、乳幼児を抱える避難者など、弱者については配慮するように。

企業局長：

- ・二次避難について、本日は900人を予定していたが、大きなトラブルは聞いていない。実績については、明日の本部員会議で報告する。

松本副知事：

- ・避難所の関係では、医療チームや看護師チームが帰ってきた際の報告を確認のうえ、その場で情報共有や、改善策を講じていくことが必要。
- ・気温も上がってきているので、衛生対策について徹底する必要がある。例えば壁新聞に注意事項を書くなど、今後検討するように。

(7) 巡回診療チームの結果報告について

保健福祉部長：資料無し

- ・20km～30km圏内の在宅者に対して、4月4日から、長崎大学、県立医大、自衛隊の各医療チームが巡回診療を行っている。4月10日13時から、自治会館2階において、報告を兼ねて次の展開をどうするか協議を行う予定。公開であるので利用いただきたい。

(8) 知事より

- ・本日は3人の閣僚が来県し、それぞれ現地を見ながら、激励を受けた。
- ・今日まで話すべきものは、全て緊急要請として行ってきたと思うが、気がついたことは何でも言ってくれとのことなので、今までもそうだっただろうが、遠慮せず発言し、その後どうなったかもフォローするように。

